

efit+ for Handheld Ver.1.1.5.0 アップデート概要

2014年1月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for Handheld Ver.1.1.5.0 で、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

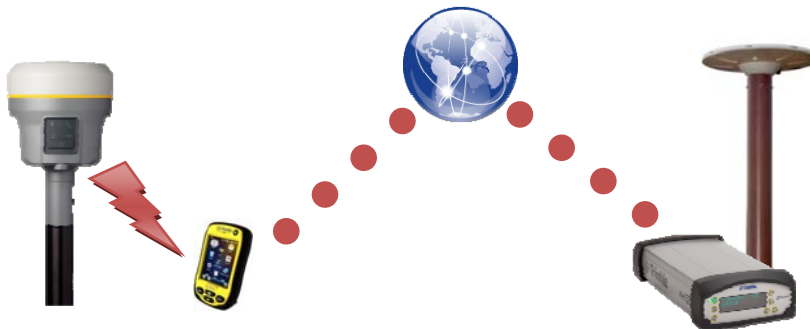
◆efit+ for Handheld Ver.1.1.5.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+J 測量基本ソフト	B-E1-J00	基本キットに含まれます	WebRTK対応など
efit+J 測量計算	B-E1-J51		
efit+J RTK/DGPS観測	B-E1-J59		
efit+J 登記観測点検証	B-E1-J61		
efit+J GNSS静止/高速静止観測	B-E1-J01	基本キットに含まれます	WebRTK対応など

■ WebRTK 対応

RTK/DGPS 観測

- ◆本バージョンより「Trimble NetR9」を基準局とし、「WebRTK」を利用して RTK 観測、RTK 測設が行えるようになりました。
- ◆「WebRTK」は、「Trimble NetR9」に搭載の「NTRIP Caster」機能を利用してインターネット回線で RTK を行う観測方法です。



- ◆「ユーティリティ→GNSS 設定→RTK 通信設定」の無線機選択に、「インターネット(WebRTK)」を追加しました。

RTK通信設定 ok X

無線機選択 インターネット(WebRTK)

詳細 VRS情報配信設定

接続設定 Wireless LAN

補正データ種類 CMRx

アドレス 210.167.114.167

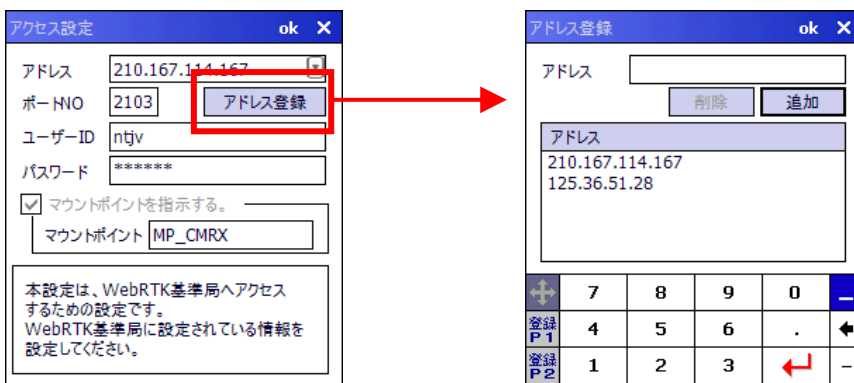
ポートNO 2103

ユーザーID ntjv

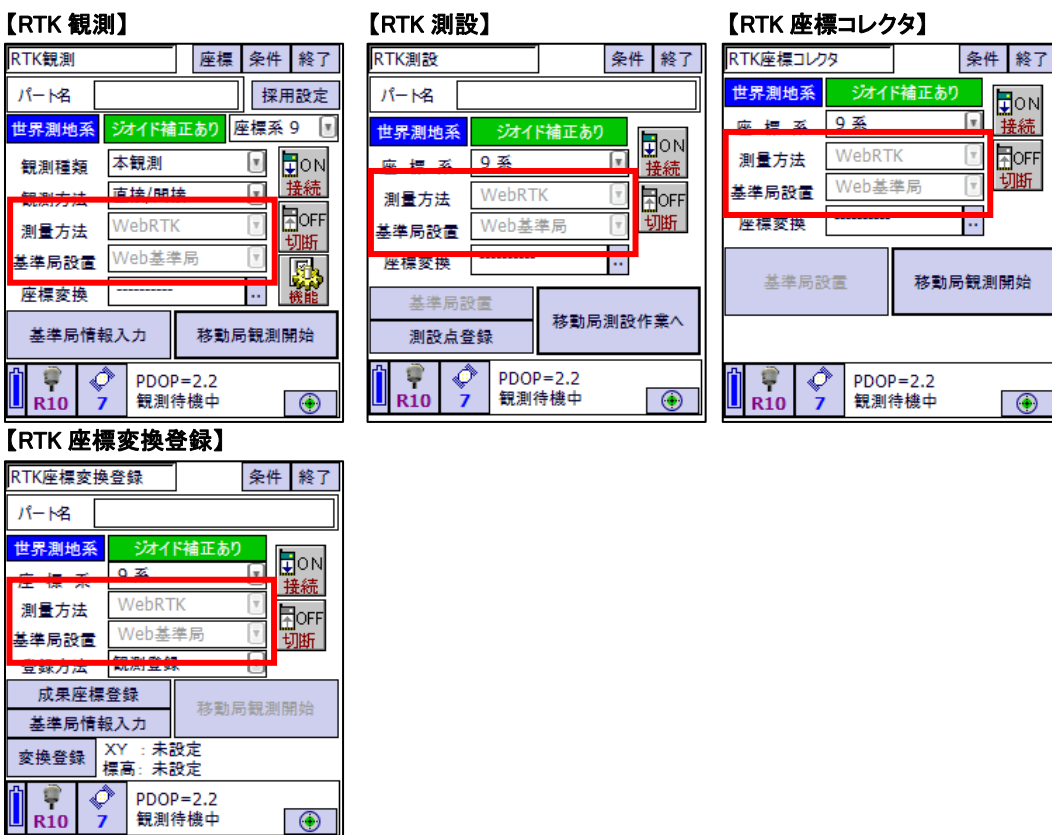
アクセス設定 NMEA出力設定

本設定は、WebRTK観測のみ有効です。
通常のRTKを行うことはできませんので、
注意してください。

- ◆「WebRTK」専用のアクセス設定を設け、アドレス登録が行えるようになりました。
また、マウントポイントの入力が必須となりました。



- ◆「ユーティリティ→GNSS 設定→RTK 通信設定」の無線機選択に、「インターネット(WebRTK)」が選択されている時は、対応プログラムの「測量方法」に「WebRTK」、基準局設置に「Web 基準局」が固定でセットされ簡単に観測を開始できるようになりました。



■通信サービス終了機器の排除

RTK/DGPS 観測

- ◆「ユーティリティ→GNSS 設定→RTK 通信設定」の無線機選択から通信サービスが終了し使用できない「データ通信カード」「携帯電話」を省きました。
- ◆「ユーティリティ→GNSS 設定→DGPS 通信設定」の携帯電話関連の使用設定を省きました。
- ◆「ユーティリティ→条件設定メニュー」から「電話帳登録」を省きました。
- ◆関連プログラムの画面から「電話帳」ボタン、「ダイヤル」ボタンを省きました。
関連プログラム： RTK 観測、RTK 測設、RTK 座標コレクタ、RTK 座標変換登録、DGPS 点探索、DGPS 座標コレクタ

以上